



# 自民党 県会報告

第190号

## 6月県議会 定例会

会期 6月19日(水)～  
7月 4日(木)

### 令和の時代、希望ある福島へ!

6月定例会は、6月19日から7月4日までの16日間の日程で開催され、令和元年度一般会計補正予算などについて審議し、予算に関する議案や意見書など41件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、一般質問4名が登壇し、復興と地方創生を更に前進させるための、県の施策についていただきました。

一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

### 令和元年度一般会計補正予算 75億9,800万円

#### 【主な内容】

- Jヴィレッジの幅広い利活用を見据えた全天候型練習場の改修(1億6,000万円)
- 「日本博」を契機とした福島インバウンド復興対策事業(2,721万円)
- 防災・減災、国土強靱化のための国の交付金等活用事業(66億3,157万円)**
  - ①浸水被害の防止に向けて、河道掘削や樹木伐採等を計画的に推進するための事業(45億2,130万円)
  - ②道路の豪雪対策や電線類の地中化等の工事を推進するための事業(20億8,586万円)
  - ③会津北部地区における農業用水利施設のストックマネジメント事業(2,205万円)  
【災害発生を未然に防止するための施設の更新】

### 自民党議員会が提出し可決した意見書・決議

- 天皇陛下の御即位に関する賀詞奉呈決議
- 子どもたちの日常生活における安全確保対策の強化を求める意見書
- WTO上級委員会報告書の結果を踏まえた日本産食品の安全性の発信強化等を求める意見書

配信しています

ふくしま自民党公式LINE

党活動や県議会活動など様々な情報を発信しています。あなたのLINEのお友達にもぜひ紹介してください。

LINE@

登録はこちらのQRコードから



### 代表質問(令和元年6月24日)



自民党議員会を代表して、総務会長の渡辺義信議員(白河市・西白河郡選出)が登壇し、代表質問を行いました。

#### 知事は今後の県づくりにどのように取り組むのか

##### 内堀知事

令和3年度以降の新総合計画の策定に着手する。策定に当たっては、県民や民間団体、市町村などの「連携・共働」を重視し、新たな県づくりを官民一体で進めることで、福島の新しい将来像を築き上げる。

#### スマート農業の普及拡大への取組は

##### 農林水産部長

農業者や農機具メーカーなどで組織する協議会を県内13地区に設置し、技術セミナーや実績検討会の開催など農業者が最先端の農業技術を見て、触れて、体験できる機会を拡大し、スマート農業の普及に努める。

#### 災害に備えた国土強靱化の取組は

##### 土木部長

「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」を活用し、道路や河川等について、防災上必要な機能の強化や整備を促進する。また、洪水、土砂災害、大雪、台風、地震などの災害を想定し、危険箇所の改善を図る。

#### 国土強靱化のための事業(66億3,157万円)

#### ふくしま学力調査を活用した学力向上への取組は

##### 教育長

7月中旬には、学習アドバイスなどが記載された個票を児童生徒一人ひとりに配布し、夏休みの家庭学習への活用を図り、継続的に把握・分析することで個に応じた学習指導の改善や今後の教育施策に活かす。

## 自民党議員会の活動

### 児童虐待防止等条例制定に関するプロジェクトチーム

5月9日～10日の日程で、すでに条例が制定されている茨城県・東京都・埼玉県を訪問し、児童虐待防止に関する条例について調査を行いました。関係機関との連携による環境整備や啓発活動など、他県の条例の特徴について説明をいただきました。また、6月12日に条例制定に向けた、県内有識者との意見交換会を行いました。今回の視察や意見交換会の内容を活かし、児童虐待防止条例の制定へ向け、努めてまいります。



▲5月10日 東京都



▲6月12日 県内有識者との意見交換会



▲6月12日 建設産業団体連合会との意見交換会

### 入札制度改革のための意見交換会

自民党入札制度改革検討会【会長：渡辺義信議員(白河市・西白河郡選出)】は、6月12日、県建設産業団体連合会と入札制度の現状と、各団体が抱える諸課題について意見交換を行いました。今後、各団体から頂いた要望などを踏まえ、県当局との協議を重ね、9月議会に知事へ入札制度の見直しを要望してまいります。

**自民党議員会は今後も必要となる新たな施策について、国や県、各省庁、党本部へ働きかけるなど、最善の努力をしてまいります。**